

子ども・子育て支援に関するニーズ調査項目について

()は量の見込みの推計上必要な項目)

頁 ()は 就学後	項目	国が示したモデル調査票に基づくもの	市の独自調査項目	就学前	就学後
P. 1	子どもと家族の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・居住区 ・子どもの生年月、子どもの数及び末子の生年月 ・回答者との関係 ・回答者の配偶関係 ・子育てを主に行っている人 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区コード（中学校区） 	○	○
P. 2～ P. 3	子どもの育ちをめぐる環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに日常的に関わっている人、施設 ・子育てにもっとも影響すると思われる環境 ・預かってもらえる人の有無 ・祖父母等親族に預ける場合の状況（負担） ・友人・知人に預ける場合の状況（負担） ・子育てに関して相談できる人、場所の有無 ・子育てにおいて希望する周囲からのサポート（自由記述） 		○	○
P. 4～ P. 5	保護者の就労状況	<ul style="list-style-type: none"> ・父親・母親の就労状況（形態、時間帯含む） ・パート・アルバイト等で就労している場合のフルタイムへの転換希望とその可能性 ・就労していない父親又は母親の就労希望とその就労時期及び形態について 		○	○
P. 6	ワーク・ライフ・バランス	—	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家事の優先度の希望と現実 	○	○
P. 7～ P. 9	日中の定期的な教育・保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の「定期的な教育・保育事業」の利用の有無と利用している場合その事業内容 ・週当たりの利用日数及び時間の実際と希望 ・利用している事業の実施場所（区レベル） ・事業を利用している理由 ・事業を利用していない理由 ・今後の利用希望（事業内容、実施場所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後利用したい事業」の希望順位 	○	
P10	土・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望の有無、利用を希望する場合その日数と時間帯 ・現在の幼稚園利用者の長期休暇中の保育・教育事業の利用希望の有無、日数、時間帯 		○	
P. 11 ～ P. 12 (P. 12 ～ P. 13)	病児・病後児保育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが病気等で通常の事業が利用できなかったことの有無 ・利用できなかったことがあった場合の対処方法とそれぞれの日数（直近1年間） ・できれば父母のいずれかが仕事を休んで見たかった日数 ・父母が休んで看ることが難しいと答えた場合、その理由 ・父母のいずれかが休んだ場合で、できれば保育施設等を利用したかった日数と望ましい事業形態 ・利用したいと思わない場合、その理由 		○	○ 1～3年生
P. 13 ～ P. 14 (P. 14 ～ P. 15)	不定期の教育・保育事業（一時預かり等）	<ul style="list-style-type: none"> ・私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気等のために利用したことがある事業 ・現在利用していない場合、その理由 ・年間何日くらい事業を利用する必要があるか。利用希望の有無と目的、日数（年間）、事業形態 ・保護者の用事などで子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無 ・その場合の対処方法と泊数、困難度 		○	○
P. 15 ～ P. 16 (P. 7～ P. 10)	放課後等の居場所（留守家庭子ども会）	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年時、高学年時それぞれの放課後の過ごし方の希望（留守家庭子ども会の場合、利用希望時間帯） ・留守家庭子ども会の土・日祝日及び長期休暇中の利用希望の有無と時間帯 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の放課後の過ごし方（留守家庭子ども会の場合、利用時間帯） ・留守家庭子ども会の施設環境等に関する満足度 ・留守家庭子ども会を利用していない場合、その理由と今後の利用希望 	○ 5才以上	○ 1～3年生 ○ 1～3年生
P. 17 (P. 11)	子どもの遊び場	—	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び環境の満足度と不満の内容 ・必要な遊び場の機能 	○	○
P. 18 ～ P. 19 (P. 17)	地域子育て支援拠点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の有無、利用している場合その回数 ・今は利用していないができれば利用したい、又は利用日数を増やしたい場合はその回数 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用していない理由 	○	
		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援サービスの認知度・利用度 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進センター、家庭児童相談室の認知度・利用度 	○	○
			<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場（オープンスペース、園庭開放等）への参加の有無 ・オープンスペースのサービスに関する希望 	○	3歳未満
P. 20 ～ P. 23	育児休業制度	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の利用の有無、無い場合はその理由 ・育児休業給付の支給、健康保険・厚生年金保険料の免除となる仕組みの認知度 ・育児休業から復帰したときの子どもの月齢とタイミング（保育所入所に合わせての復帰かどうかなど） ・3歳まで育児休業が取得できる制度があるとした場合の希望の復帰時期 ・実際の復帰時期が希望と異なった場合、その理由 ・育児休業から復帰したときの短時間勤務制度の利用の有無と、利用しなかった場合の理由 ・子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があるとした場合の育児休業からの復帰時期 		○	
P. 24 (P. 16)	子育てに関する悩みや不安感	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを楽しんでいるか、つらいと感じるか ・子育ての精神的な負担軽減のための必要な支援 	○	○
P. 24 ～ P. 25 (P. 17)	子育てしやすい社会をつくるための行政の役割	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすく、子どもが健やかに育つ社会をつくるために、国や市などの行政に期待すること 	○	○